

令和 5 年度 仕 様 書

工 事 名	町道52号線舗装工事
工事箇所	秩父郡小鹿野町下小鹿野地内
工 事 大 要	<p>工事延長 L=229m</p> <p>幅員 W=4.0m</p> <p>舗装工 A=920m²</p>

小 鹿 野 町

積算情 報 書	
工 事 名	令和 5 年度 町道52号線舗装工事
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	公共 令和04年度
工 種 区 分	舗装工事
単 価 適 用 年 月 日	令和05年04月01日付 公共
単 価 地 区	秩父(秩父県土整備)
機 損 適 用 年 月 日	令和04年10月以降適用
歩 掛 適 用 年 月 日	令和04年10月 公共
備 考	

町道52号線舗装工事

[illegible]

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
舗装工事01	1	式			K0002
舗装工	1	式			X512005
道路土工	1	式			処: Y309010
掘削 小規模 土砂 標準	140	m3			P 1 号 SP210100-0001 -1- -1
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 6.0km以下 DID区間無 作業損耗費(良好)含む	140	m3			P 2 号 SP210110-0001 -1- -1
コンクリート舗装撤去処分	21	m2			E 1 号 I0001 処:
舗装工	1	式			Y512005
不陸整正	920	m2			P 3 号 SP410010-0001 -1- -1
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 粒度調整砕石 M-30	920	m2			P 4 号 SP410040-0001 -1- -1
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度アスコン(13) 平均幅員3.0m超 プラマト 締固密度2.35	920	m2			P 5 号 SP410260-0001 -1- -1
直接工事費計					P0000001
共通仮設費計	1	式			H03701
共通仮設費(率化)	1	式			H00803
共通仮設費率分	1	式			Q00910
純工事費	1	式			H00600
現場管理費	1	式			Q00601
工事原価	1	式			H00500
一般管理費等	1	式			Q00501
工事価格	1	式			金銭の保証を必要とする H00400

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 3 号 施工パッケージ

不陸整正

1 m2 当り

(-1- -1 ,)

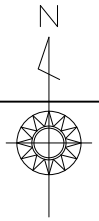
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
モータグレーダ[土工用] 排対型:2次基準 幅3.1m						TM50700022 機械経費 P2-64
ロードローラ 排対型:2次基準 マダム 運転質量10t 締固め幅2.1m						TM50800022 機械経費 P2-66
タイヤローラ[普通型] 運転質量 8～20t						TL001060003 土木単価 P122
【労務】						
運転手(特殊)						TR0114 土木単価 P1
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1
普通作業員						TR0102 土木単価 P1
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1
【材料】						
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106
【端数調整】						
[条件] [J1] = 1 補足材料の有無 無し				[J4] = 1 費用の内訳 全ての費用		

町道52号線舗装工事

第 4 号 施工パッケージ 上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 (粒度調整碎石 M-30 ,) (-1- -1 ,)							SP410040-0001
							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【機械】							
モータグレーダ[土工用] 排対型:2次基準 幅3.1m						TM50700022 機械経費 P2-64	
ロードローラ 排対型:2次基準 マダム 運転質量10t 締固め幅2.1m						TM50800022 機械経費 P2-66	
タイヤローラ[普通型] 運転質量 8~20t						TL001060003 土木単価 P122	
その他(機械)							
【労務】							
運転手(特殊)						TR0114 土木単価 P1	
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1	
普通作業員						TR0102 土木単価 P1	
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1	
その他(労務)							
【材料】							
粒度調整碎石 M-30						TZ002124002 土木単価 P5	
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106	
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 10 材料 粒度調整碎石 M-30				[J4] = 100.000 mm 全仕上り厚			
[J5] = 1 施工区分 1層施工				[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用			

第 5 号 施工パッケージ							SP410260-0001
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度アスコン(13) (平均幅員3.0m超 , プライムコート 締固密度2.35) (-1- -1 ,)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【機械】							
アスファルトフィニッシャー [ホイール型]舗装幅2.3～6.0m						TL001210002 土木単価 P123	
タイヤローラ[普通型] 運転質量 8～20t						TL001060003 土木単価 P122	
ロードローラ[マカダム] 運転質量10～12t						TL001050002 土木単価 P123	
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員						TR0102 土木単価 P1	
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1	
運転手(特殊)						TR0114 土木単価 P1	
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1	
その他(労務)							
【材料】							
アスファルト混合物 密粒度アスコン(13)						TZ004100004 土木単価 P46	
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用						TZ004130002 土木単価 P49	
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106	
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 50.000 mm 1層当り平均仕上り厚				[J1] = 4 平均幅員 3.0m超			
[A1] = 2 材料 密粒度アスコン(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用				[J4] = 3 瀝青材料種類 プライムコート PK-3			

位置図



工事箇所



数量総括表

[illegible]

計 算 調 書

[illegible]

道路土工					
計 算 書					
掘 削 工 (土砂掘削)					
測 点 番 号	距 離	横断面積 法 長	平 横断面積 均 法 長	立 方 米 平 方 米	備 考
BP		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 1		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 2 + 15.000		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 3		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 4		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 5 + 7.000		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 6		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 7		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 8		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 9		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 10		0.60			
	20.000		0.60	12.00	
No. 11		0.60			
	8.500		0.64	5.44	
EP		0.68			
			別計	0.61	
	228.500		合計	138.05	

計 算 調 書

工 種	構造物撤去工	種 別	構造物取壊し工
(レベル2)		(レベル3)	
<div> <div>1. 既設コンクリート舗装撤去処分</div> <div> <div>撤去延長</div> <div>平均幅員</div> </div> <div> <div>1) 撤去面積</div> <div> <div>A =</div> <div>10.50</div> <div>×</div> <div>2.00</div> <div>=</div> <div>21.00</div> <div>m²</div> </div> </div> <div> <div>2) 廃材量</div> <div> <div>V =</div> <div>21.00</div> <div>×</div> <div>0.10</div> <div>=</div> <div>2.10</div> <div>m³</div> </div> </div> <div> <div>3) 廃材重量</div> <div> <div>W =</div> <div>2.10</div> <div>×</div> <div>2.35 (t/m3)</div> <div>=</div> <div>4.94</div> <div>t</div> </div> </div> </div>			

計 算 調 書

[illegible]

舗装工		不陸整正 上層路盤 表層			
計 算 書					
測 点 番 号	距 離	横断面積 幅 員	平 横断面積 均 幅 員	立 方 米 平 方 米	備 考
BP		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 1		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 2		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 3		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 4		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 5		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 6		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 7		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 8		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 9		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 10		4.00			
	20.000		4.00	80.00	
No. 11		4.00			
	8.500		4.25	36.13	
EP		4.50			
			別計	4.05	
	220.000		合計	920.18	

鋪 裝 計 算 書

[illegible]

特記仕様書

(適用)

第1条 この特記仕様書は、次の工事の契約日から適用する。

- ・工事名 町道52号線舗装工事
- ・工事箇所 秩父郡小鹿野町下小鹿野地内

(共通事項)

第2条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、本工事に係る再生資源利用〔促進〕計画書を作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用〔促進〕実施書を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ①1,000m³以上の土砂を搬入する工事
- ②500 t 以上の砕石を運搬する工事
- ③200 t 以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④最終請負金額100万円以上の工事

○再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ①1,000m³以上の建設発生度を搬出する工事
- ②アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t 以上搬出する工事
- ③最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステムに基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出する。また、完成検査時には原本を提示しなければならない。

(建設廃棄物の再資源化等)

第3条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等及び再資源の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等については設計図書において、再資源化について以下の積算条件を設定しているが、費用等については契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

○再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地

※ 上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。ただし、原則として再生資源化施設へ搬出すること。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

- 2 受注者は、契約前に「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。
- 3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告しなければならない。
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
 - ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用
- また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。
- なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。
- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、平成14年3月18日に策定した「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

(建設発生土の搬出)

第4条 建設発生土は下記のとおり搬出するものとする。(運搬距離L＝5.5km)

なお、搬出の手続き等は監督員の指示による。

搬出先	所在地
坂戸残土捨場(小鹿野町管理)	秩父郡小鹿野町両神薄地内

(コリンズへの登録)

第5条 受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後（工事完成検査合格後）10日以内（いずれも土曜日・日曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く）に、訂正時は速やかに(財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は変更時の提出を省略できるものとする。

(事前調査)

第6条 現場着手前に起工測量を実施し、測量結果を監督員に報告すること。

(施工時の交通規制について)

第7条 本工事の交通規制は、車両通行止めで行う。交通誘導警備員が必要となった場合は、監督員と協議し、決定すること。

(県産品の積極的使用)

第8条 調達する工事材料は、埼玉県産とするようつとめなければならない。

(法定外の労災保険の付保)

第9条 受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。

(その他)

第10条 その他疑義のある場合には、監督員と協議するものとする。